

昭和五十四年三月  
飛鳥藤原宮発掘調査出土木簡概報(四)

藤原宮出土木簡(三)

奈良国立文化財研究所

卷之三

卷之三

中

子日

卷之三

子日

卷之三  
卷之三  
卷之三

この概報はさきに公刊した「藤原宮木簡(一)」(昭和52年12月)以後、藤原宮及び藤原京の調査で出土した木簡について、その主要なものを収録した。出土総数は1060点である。

#### 一、木簡出土の地点と状況

##### 第20次調査 (G A J F 昭52・12)

第20次調査は藤原宮大極殿の北で行い、大極殿を囲む北回廊の一部と宮造営以前の道路S F 1920とS F 1731の交叉点、道路S F 1920の東側でそれに並行して南から北に流れる溝S D 1901A等を検出した。木簡は宮造営以前の溝S D 1901Aから出土した。このうち、一部の木簡については先に公刊した「藤原宮出土木簡(一)」に収録している。今回は、同溝からそれ以後に出土した52点について主要なものを収めた。S D 1901Aから出土した木簡は、先に出土した72点と合わせて総数124点である。紀年銘をもつ木簡としては壬午(六八二)、癸未(六八三)、甲申(六八四)があり、天武朝に限られることが注目される。同溝出土の木簡で年代のわかるものの下限は、「藤

原宮出土木簡(二)」で報告した天武十四年の位階を記したものである。

##### 第23次調査 (G A J H 昭53・8～9)

第23次調査は、橿原市営日高山住宅の増設工事に伴う事前調査として、藤原京右京七条一坊の推定地で朱雀大路に接する場所で行った。発掘の結果、朱雀大路西側溝の西肩、掘立柱建物1、井戸1、土壇群等を検出した。木簡は井戸S F 2220から削り屑1点が出土した。この井戸からは他に土器、斗雛型・横櫛・曲物などの木製品、発掘区に隣接する日高山瓦窯の窯体等が出土している。

##### 第24次調査 (G A J B 昭53・9～昭54・2)

第24次調査は、藤原宮の東面北門推定地の南で行い、約200mを発掘し、宮東面大垣、それに伴う内濠と外濠、掘立柱建物2、掘立柱堀1、溝2、井戸1、土壇1などを検出した。木簡は外濠、内濠、井戸から計1007点出土した。

宮の東外濠S D 170からは388点出土した。S D 170は東面大垣S A 175の東約20mを南から北へ流れる幅約6

mの素掘りの溝である。堆積層は大きく三層に分けられる。上・中層は土器と多量の瓦を含み、木簡は下層から木片と共に出土した。S D170は昭和43年に奈良県教育委員会によって本調査地の北約300mの所で検出され、木簡が約50点出土している。また当研究所でも昭和51年に本調査地の南方二ヶ所で検出しており、木簡が合わせて55点出土した。今回出土の木簡で年紀をもつものは申（六九六）の一点であるが、大宝令施行後の木簡も含まれることは郡名記載のものがあることから知られる。

内濠S D2300からは573点が出土した。S D2300は、東面大垣S A175の西約12mの所を南から北へ流れる幅約2.4mの素掘りの溝である。堆積層は三層で、木簡は下層から土器・多量の木屑などに混じって出土した。また発掘区の中ほどで溝幅が広がっている部分があり、この溜りから多くの木簡が出土している。出土木簡のほとんどは削り屑である。

井戸S E2310からは96点が出土した。S E2310はS D2300の西10mにある径約1.5m、深さ約0.9mの素掘りの井戸である。井戸の下層には大量の木屑が一括して投棄された状態で堆積しており、木簡はこの木屑の中に混じっ

て出土した。出土した木簡はすべて削り屑で、年紀をもつものは慶雲三年の一例である。

第24次調査出土の木簡の内容で顕著なものとしては、「官奴司」<sup>〔伊カ〕</sup>「都支官奴婢」「椽衣」などの奴婢に関するものをあげることができる。これは特に井戸と内濠から出土したものに目立っており、「安麻呂」「千縄」という奴と思われる人名を書いたものは井戸と内濠の両方から出土している。外濠の場合、井戸や内濠ほど顕著ではないが、それでも「官奴寮」「婢惠美女」などが見られ、これらのことからこの近くに官奴司もしくは奴婢に關係する役所があったのではないかと考えられる。

## 二、木簡の形態分類

6011型式 短冊形。

6015型式 短冊形で、側面に孔を穿ったもの。

6019型式 短冊形と推定できるもの。

6021型式 小型矩形のもの。

6022型式 小型矩形の材の一端を圭頭にしたもの。

6031型式 長方形の材の両端左右に切りこみを

入れたもの。

6032型式 長方形の材の一端の左右に切りこみ

をいれたもの。

6033型式 長方形の材の一端の左右に切りこみ

をいれ、他端を尖らせたもの。

6039型式 長方形の材の一端の左右に切りこみ

があるが、他端は折損あるいは腐蝕して不明のもの。

6051型式 長方形の材の一端を尖らせたもの。

6059型式 長方形の材の一端が尖って他端の形

態が不明のもの。

6061型式 用途の明瞭な木製品に墨書のあるもの。

6065型式 ある種の用途をもつと推定される木

製品に墨書のあるもので、その用途が判然としないもの。

6081型式 折損、腐蝕その他によって原形の判

明しないもの。

6091型式 削屑

### 三、凡例

以下、出土遺構ごとに本文を掲げる。各遺構から出土した木簡の配列は用途別に記載し、最上段に出土地点（アルファベット・数字）、つぎの段に形態分類記号（本報では千位の6を省き、3ケタで表わす）をそれぞれ記した。・は木簡の表裏をあらわし、「」は別筆を示す。

第二〇次調査

6AJF-SD1901A

KJ 33 031 壬午年十月□□毛野

□□

KH 31 011 法念師前 小僧吾白啓者我尻坐賜止

KI 33 081 癸未年十一月 三野大野評阿漏里

□□□

僧□者 五百□

KJ 32 031 旦波國竹野評□□里大贄布奈□

KI 32 081 □ 米一斗六升□□

KI 33 081 鴨評□

KJ 32 081 甲申年七月三日 □□

KI 33 033 □里春人□俵

日仕甘於連□

第二三次調査

KI 33 081 □□評大伴マ忌寸廿六以白

6AJH-SE2270

KI 33 081 □月十三日 (四\*)

NH 59 091 □首首

第二四次調査

6AJB-SD170

PC 29 019

右舍人親王宮帳内

PC 29

019

・子曰學而不

□  
□不□□□□

PA 29

081

陽胡史□□

婢惠美女

PB 29

081

・廿九日壬申

□

□  
□

PB 29

081

又一俵

PC 29

081

・番召

□

□

□ 十六 □

PD 29

081

丙申年□月十日

PD 29

081

右衛士府□ 日

PD 29

081

・下番火頭

□

□

□<sup>(神麻績)</sup>□□□□

四月十日□

PE 29

081

□□□□九人

三月廿七日

PD 29

081

・蘭池

□<sup>(司)</sup>

・下□□

□□□□

□宮□

PE 29 081 大伴連

□

PA 29 081 御宮若子御前恐々謹

末□□□命坐而自知何故

PA 29 081 一月 日 受浅妻□連

PB 29 081 少尉船連

□ ~~持~~ ~~持~~ ~~持~~ □ 眞

PB 29 081 下道且臣吉備麻呂

PE 29 081 位下少志□

PE 29 081 葛木マ百枝

PE 29 039 吉備

PF 29 081 □ 日□長谷マ□□

PF 29 019 □□□□召坂上□□□□  
(直)

針間國造毛人 中 大□勝兄万□

PF 29 081 田マ連加□□

PG 29 081 □□□□又□必□□而重

□□知山□□□

PD 29 032 田邊史牛末呂□

PA 29 081 價塩二斗

□ □ □

PD 29 081 尾治國知多郡贛代里

丸マ刀良三斗三年九月廿日

PG 29 081 □ 雪多降而甚寒

PD 29 019 若狹國小丹生郡手卷里人 □

PF 29 019 七九六十三 六十二

□ 一斗 大根四把

□ □ □ □ □ (八九〇)

□

PF 29 039 志麻國嶋郡塔志里戸主大伴マ嶋

志麻 □

PC 29 081 官奴察人委文 □ □ □ □ □

□ □ □ □ □

6AJB-SD2300

PG 29 081 □ □ マ □ 須可調荒堅魚 (加)

QV 40 091 □ 染絶 □ □ □

PF 29 081 □ 家里塩三斗

QC 40 019 廣背

QC  
40  
091  
御史官

QC  
40  
011  
大市得万呂  
卅四

QC  
40  
091  
□<sup>(月)</sup>  
二日  
□

QC  
40  
091  
廣背

QC  
40  
091  
召九人

QC  
40  
091  
染

QC  
40  
091  
春日奴安麻

PE  
40  
091  
□年廿一

PF  
40  
091  
婢一

PF  
40  
081  
廣瀬

PF  
40  
091  
年卅  
□  
□

QC  
40  
091  
秦伊  
□

QC  
40  
091  
波女

PG  
40  
091  
一半伊毛賣  
□

PH  
40  
091  
安麻呂  
□

PG  
40  
091  
千繩年  
□

PH  
40  
091

官如

PG  
40  
091

大人

利市  <sup>(己カ)</sup>

弥奈

飯足ニ  入字ツ文之ニ

PH  
40  
081

人

女

ツ

刀良

之安  
比

詔

PG  
40  
091

舞

PG  
40  
091

舞

舞

QP  
43  
091

椽衣一匹

QP  
43  
091

安麻呂 <sup>染</sup>

惠 <sup>染</sup>

QP  
43  
091

位上布师 <sup>(首カ)</sup>

QP  
43  
091

官奴司謹奏 膳足梓

6AUB-SE2310

PG  
40  
031

綾海高  マ行乃古三斗

PF  
40  
031

海評佐々里 乃相多利

QC  
40  
031

三野評物マ色夫知

QP  
43  
091

上千繩

QP  
43  
091

□<sup>(伊)</sup>都支宮奴婢

QP  
43  
091

□  
□  
□  
一丈三尺五□

QP  
43  
091

□  
□  
七枚 慶雲三年三月一日

QP  
43  
091

□  
糸椽二□

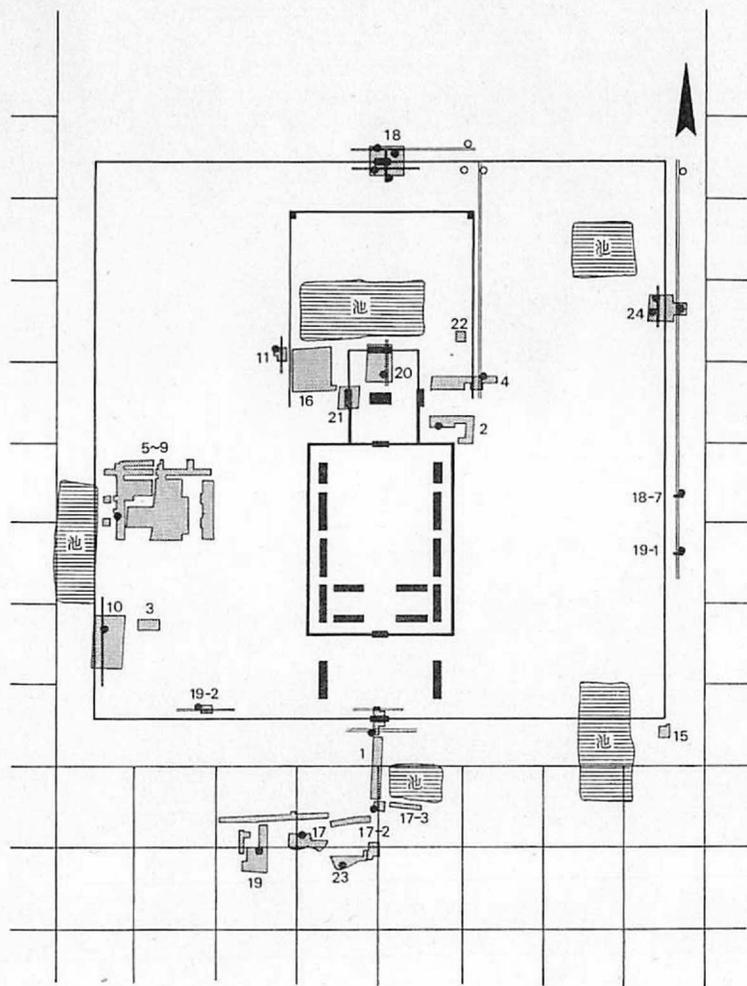
QP  
43  
091

生糸二□

QP  
43  
091

上伊止志 □

藤原宮木簡出土地点略图



- 文化財研究所調査
- 奈良県調査
- 数字：調査次数

# 第24次調査木簡出土地点略図

